

市民のための「薬と健康フォーラム」in とわだ開催

今年で5回目を数え、毎年の恒例行事として市民に定着してきた、市民のための「薬と健康フォーラム」in とわだが平成 29 年10月29日、十和田市立中央病院さわらび会館にて開催されました。本会は一般市民を対象とした市民公開講座であり、薬の適正使用やお薬手帳の活用、セルフメディケーションの重要性等、薬についてより理解を深めて頂くと共に、健康情報の拠点としての薬局の役割を周知していくことを目的としております。

講演1では、「くすりとの賢い付き合い方～たまには薬剤師に薬のことを訊いてみましょう～」と題して、青森大学薬学部薬学部長 三浦 裕也先生よりご講演頂きました。講演では、薬の適正使用について、飲みすぎれば毒となるし、少量では効き目が見られない、適量飲むことが大事である点についてお話頂きました。又、同じ成分でも治す病気が異なる薬がある点や、同じ成分の薬でも、飲み易い製剤設計がなされた多種多様な剤形がある点についても触れ、薬を服用して、「不安」な時は、薬剤師に是非相談してみてくださいとお話頂きました。



講演2では、「薬局の上手な活用法」と題して、青森県薬剤師会 上十三支部 理事 佐々木 悠太先生よりご講演頂きました。薬局は処方せんがなくとも気軽に入れる場所である点についてお話頂き、薬や健康の相談、血圧や検体測定等、様々な機能を持ち合わせ、健康をサポートすることができる点について説明頂きました。

講演の合間、終了後には、お薬相談や禁煙相談コーナー、各種健康チェック体験コーナーを設け、多くの市民の皆様にご参加頂き、市民の皆様への健康に対する関心の高さを伺い知ることができました。今後も、このような市民公開講座を継続していくことで、薬についての理解をより深めて頂き、薬剤師の役割、薬局の健康相談拠点としての役割を市民の皆様にご広く知って頂くことが大事と感じました。

